
おめでとう。ありがとう。あいしてる。

火野村祭

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

おめでとう。ありがとう。あいしてる。

【Nコード】

N7186R

【作者名】

火野村祭

【あらすじ】

イタリア誕生日記念小説です。

（前書き）

遅くなりました。すみません。

独伊で誕生日記念小説です。短いですがぶっちゃけた話、無理矢理誕生日ネタ入れた感否めないですが許容お願いします…！

「ねえドイツ、愛してるって言って？」

ぱちり。丸くした目で、まばたきをひとつするドイツ。仕事中で、仕事用のデスクに座っていたドイツに、いきなりだけど、言ってみた。

目を丸くしたドイツはそれから赤くなって、何を言い出すんだお前は?!と半ば叫ぶみたいに言う。

「だってドイツって、いつも好きとか愛してるとか言ってくれないじゃん？」

「っ、だからと言ってだな、…俺はそういうことを言ったりするのが苦手なんだ！」

「知ってるよー。だから言ってるの！」

デスクに頬杖をついてドイツの顔を見つめる。ドイツはため息をついた。ねえどいつー、と言ってみると、額を押さえて考え込むよう感じになってしまった。

…でもさ、今日は。今日ぐらいは、言ってくれてもいいんじゃない？

だって、今日は俺の誕生日なんだから！

朝いちばんにドイツからおめでとう、と言われて、自分の誕生日を思い出したんだけど。

きっと誕生日プレゼントも用意してくれてるんだろうけど、（プレゼントもすっごい嬉しいけど、）プレゼントよりドイツの言葉が欲しい！

「誕生日にくらい言ってくれてもいいんじゃない？」

「……そうは言ってもだなっ」

赤くなるドイツに、そういえば前にもこんなことあったなあ
と思ひ出す。

あれはまだ、付き合い出す前だったな。懐かしい。

ふ、と笑いながら、じーっとドイツを見つめる。蒼の瞳は、ふせられたまま。

「ねー、どーいつっ」

ドイツの大きな右手を握って、俺はドイツのこと愛してるのになー
？と言ってみると、盛大なため息。そのあとゆっくりドイツの視線
が俺の瞳をとらえて、小さな声で、

「……好きだ。

愛してる」

そう言われて、つい顔がほころんで！

えへへ、と笑って、俺もドイツ大好きだよー、と言って握っていた
右手に自分の指を絡めた。

「……イタリア」

「なに？ドイツ」

「…誕生日、おめでとう」

「ありがとう」

ほんとに嬉しくて、にこーっと笑うと、ドイツも、優しく笑ってく
れた。

きみのことば

(キミの一言が、ほんとに嬉しいんだよ)
(キミと一緒にいられて、よかったよ)

(後書き)

ありがとうございました！

ローマーノのほうも西 로마 でうpしようと思ってるんでそちらもよろしくお願いします！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7186r/>

おめでとう。ありがとう。あいしてる。

2011年10月9日18時14分発行